

審査講評

審査委員 鹿沼市立清洲第一小学校長 金子 節子

審査した作品から、森林や自然に対する様々なイメージを感じることができました。ポスターは一目でテーマの伝わることが大事です。森林愛護や緑化推進というテーマをよく理解し、思いの伝わってくる作品を選入に選びました。中でも最優秀賞に選ばれた作品は、審査員全員から高く評価されました。

北小五年、金子悠良さんの作品には植樹する女の子の表情が生き活きと描かれています。植えられた苗木と背景の森も丁寧に表現され、自分たちの手で緑を増やそうという思いが伝わってきます。

中学二年、北犬飼中の田原優さんの作品からは、苗木を包み込む子どもと大人の手の温もりが感じられます。世代を越え、森林を育むという思いが伝わってきます。森から空へ広がる風景や「森林愛護」の文字も効果的で、ポスターとして完成度の高い作品となっています。

その他の入選作品も森林に親しむ様子が伸びやかに表現され、森を増やし育てていく思いが感じられます。また、育樹のイメージを大胆に画面構成した作品も多く、一目でテーマが伝わる作品となっています。

入選しなかった作品の中にも魅力ある作品がありましたが、緑化や森林愛護のテーマから離れ、植物や動物の印象が強かったのが残念です。森林を増やす思いを素直に表現するとよいと思います。そのためには、身近な森に親しむことも大切だと思います。